

みなぎる

おおさか誠二選対ニュース



2014年12月8日

第4号

発行責任者:高橋とおる

おおさか誠二選挙事務所

〒040-0001 函館市五稜郭町4-16
TEL:0138(31)1151 / FAX:0138(31)1161

「自民党議員100名落選キャンペーン」展開中の 山本太郎 参議院議員 応援に駆け付ける!

世紀の大迷惑・身勝手選挙で山本太郎参議院議員は、安倍総理退陣を実現するため、「自民党議員100人落選キャンペーン」を展開しています。

最悪の状態を脱するには、今回の衆議院議員選挙で野党側に、力を戻さなければならないという思いで、自民党議員を落とす可能性のある野党候補者を勝手連的に応援に駆け回っています。

12月7日(日)、函館市港町1丁目のポールスターショッピングセンターに大島九州男参議とともに登場した山本太郎参議院議員はメガホンを手に買い物客に呼びかけました。

また、その後は北斗市七重浜4丁目の「ダイエー上磯店」前で街頭演説をしている逢坂誠二候補と合流し、応援演説をしました。



山本太郎参議院議員からは、「安倍首相は好景気の循環が生まれているなどという。大企業が儲かれば、その恩恵がみんなに行き渡るといいうゆるトリクルダウンと呼ばれるものだが、そんなもの起きるはずもない。これは自民党のお家芸で、小泉内閣、第1次安倍内閣のときも言われていた。6~7人に1人は貧困、単身女性は3人に1人が貧困と言われている。これで何が強い国、美しい国だ。」



安倍政権の暴走を...

さらに「今は衆参で与党が多数を占めているがバランスのとれた構成が必要。安倍政権の暴走をストップはできないが、スローダウンさせなければならないという思いで、今、自分でキャンペーンをしている。自民党議員を100人落選させるキャンペーンだ。彼らは地方創生などと言っているが、どうせ既得権者にばらまく。」



「逢坂さんは、地方一括交付金を作り、地方のことは地方で決めるという仕組みをすでに作ってきた。なぜ、このような人が国会議員でいられないのか。大間の問題やTPPの問題、与党は2年前何といていたか。反対と言っていたのではないか。大間は反対と言っているが、それは詐欺の可能性もある。大間を止められるのは逢坂誠二さんしかいない!」と訴えました。

逢坂候補からは、「今回の選挙で、与党が大勝すれば、集団的自衛権行使容認、原発推進への回帰、特定秘密保護法など、国民の多くが懸念する政策の推進にお墨付きを与えかねない。与党の議席を少しでも減らすことが、必至のこととなっている。原発推進から大間の凍結へ。大企業優先の経済から庶民の懐(地域、一次産業、中小企業)が潤う経済へ。TPPに断固反対し、公開と納得の交渉へ。集団的自衛権行使容認から平和主義の徹底へ。こうした方向へと流れを変える必要がある。」と訴えました。



街頭演説後、山本参議院議員も本隊車に乗り込み、函館に滞在できる時間ギリギリまで、おおさか誠二への支援を求め、マイクを握り続けました。